



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第7号

令和3年11月25日
杉並区立阿佐ヶ谷中学校

～みんなのしあわせを創る杉並の教育～

「杉並区教育ビジョン2022」

校長 工藤 康男

11月末を迎え、2学期も残り1ヶ月となりました。一日の気温の寒暖差が大きくなる時期であり、昨年度は流行しなかったインフルエンザも、今年度は流行すると予想されています。引き続き、子どもたちの体調管理には、ご留意いただければと存じます。

3年生は10月26日から2泊3日の修学旅行がありました。当初の予定は9月末でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、10月末に変更になりました。行程の変更がありましたが、天候に恵まれ、目的である社会的ルールを身に付け、自ら考え、正しく判断し、自主的に行動する力を身に付けることができました。充実した三日間の体験を、この先の学校生活に生かしてもらいたいと考えます。

また、1年生は11月25日に「江戸・東京めぐり」の校外学習、2年生は11月26日に「鎌倉方面」の校外学習、G組は12月7日に「防災体験学習施設そなエリア東京」の校外学習を実施します。東京都の新型コロナウイルス感染者数は大幅に減少しましたが、感染症対策を十分に行い、校外学習の目的である班行動等の体験を通して、協力することの大切さを学び、友人との交流をさらに深めることができるようにします。そのことが、子どもたちの成長につながるのだと考えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、2012年に策定した「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の実現を目指した杉並区教育ビジョン2012に変わり、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を目指す杉並区教育ビジョン2022が正式に策定されました。杉並区教育ビジョン2022は教育基本法に基づく杉並区の教育振興基本計画として位置付けられます。人生100年時代を、区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるための羅針盤となるよう、杉並の教育の基本的な考え方を示したものです。共に尊重し大切にしたいこととして、①学び合い、信頼をつくり、共に生きる。②ちがいを認め合い、自分らしく生きる。③誰もが社会の創り手として生きる。の3つがあります。また、一人ひとりが教育の当事者として心がける視点として、①子どもの思いを尊重する。②ちがいを受け入れる。③対話を大切にする。④学びの成果を贈り合う。⑤社会を創る当事者として考える。の5つがあります。

本校も、令和4年度から概ね10年程度を期間とする「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を目指す杉並区教育ビジョン2022を具現化し、令和4年度の学校経営計画に位置付け、生涯にわたって、学び合い、教え合い、かわり合う教育を推進します。